

「なんかいいね。里美」

里美の「なんかいいね。」を伝える情報誌「SATOMITO (里美と)」vol.7ができました！この情報誌では里美の中で暮らす魅力的な“人”たちの紹介もしていきます。「SATOMITO」片手に里美の旬を感じ、立ち寄った場所で里美の“人”の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。きっといつもと違う里山の日常に触れることができるでしょう。

里美の良さって？

(自然+食+文化) × 人の営み
= 理由のない心地良さ

里美の人 × 季節の草花

「里美・季節の人」のご紹介でその人に似合う「季節の草花」と「花言葉」をタイトルにしてみました。

1月お休み
2月12日
3月12日

毎月第3日曜日は里美の白！
里美の人情に触れられる温かいイベントです。
詳細は裏面の里美村絵図を参考して下さい。



里美の魅力

常陸太田市の北部、福島県との県境に位置する里美は国道349号線を中心に東西を阿武隈山系の山々に囲まれた自然豊かなムラ。常陸太田市の人々の生活に欠かせない飲み水を生み出す源流域。



ご存じですか？里美。

-YABUKOUZI-

花言葉：ふくよかな聲

藪柑子

井上 芳子さん (70歳)



「里美にお嫁に来た頃、周りの人が『ほぎほぎ(たくさん)食べろ』『そのきゅうろい(黄色い)服・・・』なんて話しているのを聞いて、言葉の違いにびっくりしたわ」と話してくれる芳子さんは、その屈託ない笑顔と飾らない話に、誰でもすーっと惹きつけられる不思議な魅力の持ち主だ。ずっと前から知っているような、近しい親戚のような、初めて会う人にもそんな印象を与える、今では神奈川出身であるということに驚いてしまうくらいに流暢な里美弁で、出会う人皆を魅了する。お嫁さんに来た先は、雑貨や食料品を扱う商店を営んでおり、自然と人との交流が多い環境だった。「人が優しく、親しみやすい」と感じる里美の人たちとは、農業のことを教えてもらったり、一人暮らしの人に積極的に声をかけたり、お使いの時には車に乗せてあげたりと、持ちつ持たれつの間柄だ。四季毎に開催している里美の家庭料理レストラン「里美御膳」では、関わるお客さんたちのリーダー的存在として活躍している。「言いたいことを言いながら、知恵を出し合いながら、賑やかに楽しくやっています。お客さんと交流できるのが楽しいよね」と人と自分との間に壁を作らないその柔らかな雰囲気の方子さんに会うことを楽しみにレストランに足を運ぶ人も多い。芳子さんの笑顔に支えられている人が多いように、芳子さんもまた、多くの地域の人たちに支えられているという。人々の、大きな信頼関係と絆の上に、里美という地域が存在している。だからきっと、この地域はこんなにもあたたかく、誰のことも魅了する場所なのだろう。(文・長島)

伊藤さんは国道349号線を北上し福島県境に接する徳田という場所に、2002年妻の幸子さんとともに移り住み就農しました。有機農業者として農場経営の日々をおくる一方、清泉女子大学地球市民学科の非常勤講師として同学科のカリキュラムであるフィールドワークをここ里美で10年以上続けています。1986年から3年間エチオピアで民間の国際協力団体である日本国際ボランティアセンターの農村復興プロジェクトに参加。その折に同じ団体のエチオピア代表として現地に赴任していた方が清泉女子大学の教員として2003年に学生をつれて里美でフィールドワークを実施したのが、大学と里美さらには常陸太田市のつながりの始まりでした。フィールドワークの受け入れを伊藤さんの地元徳田で実施する際に、地元の長男会(徳長会)に相談をもちかけたところ快くそして真剣に引き受けてくれました。それ以来地域ぐるみでの取り組みとなり、夏の恒例行事となったようです。翌年からは野良の会(里美を中心とする有機農業者の集まり)などの協力も受けるようになったそうです。都市に暮らす学生が環境も文化も違う農村で過ごす時間は、まさに異文化体験のようであり、その中から学生たちが何を学んで今後の人生につなげていくかを想像するのも伊藤さんの楽しみとなっているようです。年齢的な制約もあり、伊藤さんが授業を担当できるのもあと数回。今後は里美在住の卒業生が大学とのつながりを続けてほしいと願っているようです。学生と農村をつなぐ架け橋を十数年担ってきた伊藤さんの優しく深い眼差しは訪れる学生たちの将来を見つめているようでした。(文・岡崎)



-FUKUJUSOU-
花言葉：幸せを招く
福寿草
農業者 伊藤 達勇さん (66歳)

とっておきの里美と出逢う
～冬の里美 おすすめスポット～

星空めぐり

冬の空気が澄んでいる今の時期、里美の夜空を見上げてみて下さい。そこには満天の星空が！！
冬の天の川とオリオンに会いに来て下さい。



里美の冬は、寒いから温かくしてみよう。プラトリーから見る星空は、おすすめだ。満天の星空が見えるもんな。

-TUKURU-HITO- No.7

高齢者センター (しめ縄作り) 宝船制作

種を蒔き、草を刈る



「育てる」が始まり

一年の月日を経て



想いは形になる
誰かの幸せを願いながら

構成・編集：岡崎 晴・長島 由佳/A4デザイン：なる/A3デザイン：中野 修
里美絵図・四季絵：天野 和男/企画・発行 SATOMITO 制作チーム
協賛 (一社)常陸太田市観光物産協会/(一財)里美ふるさと振興公社
※無断転載はご遠慮願います。

1/15 (日)
13時～16時



落ち葉ネットワーク里美
みんなでザワザワ落ち葉かき

集合場所：ふれあい館駐車場 (会場：大中地内の雑木林)
参加費：無料
持ち物・服装：軍手・汚れても良い格好・長靴だとなお良し。
申込先：特になし♪現地集合をお願いします。

冬のイベント情報

1/22 (日)
9時～12時



場所：金波寒月 (住所：常陸太田市折橋799)
参加費：1000円 (材料費など)
持ち物：休憩時に飲む飲み物があると良し。
申込先：事務局 (佐川) 080-5497-2626

紙粘土で雛人形作り
会場・金波寒月

SATOMITO SATOMITO SATOMITO SATOMITO
2017.1 冬号

里美の地域情報紙

SATOMITO

vol.7

里美の冬、
始まりました



SATOMITO 「里美と」 歩む・暮らす・生きる…テーマにした地域情報誌

里美村繪圖



里美秋色

至北茨城

三鈎堂山

根岸・冬ざれ

- 1 うなぎ料理店
- 2 うな沼
- 和食
- 3 旬菜工房こぼや
- ラーメン
- 4 ラーメン家ようちやん
- 和食
- 5 焼肉・鮎・刺煮古神
- 6 餅食・サフォーク
- 7 レストランこごま
- 8 cafe・ランチ
- 9 古民家荒蕨邸
- 蕎麦
- 10 麵処くるり
- 11 里美観光農園・蕎麦
- 12 うぐいすの里
- 13 蕎麦うどん定食
- 14 やまびこ
- 15 ラーメン・定食
- 16 かねさわ精肉食堂
- 17 ラーメン・定食
- 18 美の里
- 19 蕎麦
- 20 ゆみ野
- 21 ラーメン
- 22 ふるさとラーメン

従是北未知奥路

明神峠

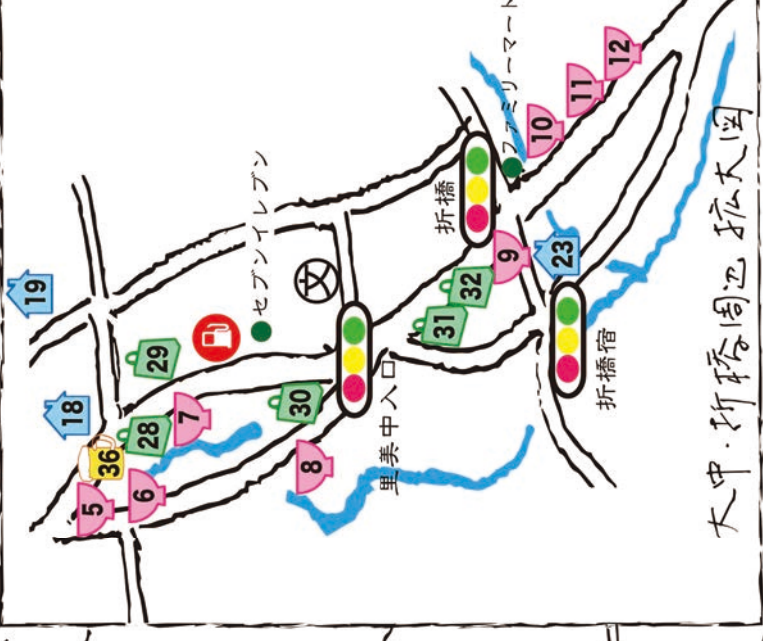
至太子町

至太子町 猪ノ鼻峠

猪ノ鼻峠入口

里美ランドマーク

鍋足山551m



大中・折橋周辺拡大図

- 14 釣り堀・お食事
- 15 若駒つりぼりセンター
- 16 体験・宿泊
- 17 プラトー里美
- 18 宿泊(会員制)
- 19 農家の宿 沼田邸
- 20 里美温泉保養センター
- 21 ぬく森の湯
- 22 体験・宿泊
- 23 里美ふれあい館
- 24 体験
- 25 高齢者生産活動センターさとも
- 26 旅館・日帰り温泉
- 27 横川温泉 湯元巴屋旅館
- 28 旅館・日帰り温泉
- 29 横川温泉 元湯 山田屋旅館
- 30 旅館・日帰り温泉
- 31 横川温泉 中野屋旅館
- 32 体験・コミュニティセッション
- 33 酒蔵「金波寒月」
- 34 旅館・日帰り温泉
- 35 大昔温泉 里美屋旅館
- 36 旅館・日帰り温泉
- 37 大昔温泉 元湯旅館

至高秋
花賞深谷



大割石(たぢわりいし)

国道461号

備前川・下流

大沢



七反のシダレ桜

河鹿沢・此流

至日立市
至十王所

上深萩

国道349号

至水府
竜神大橋

里美大橋入口

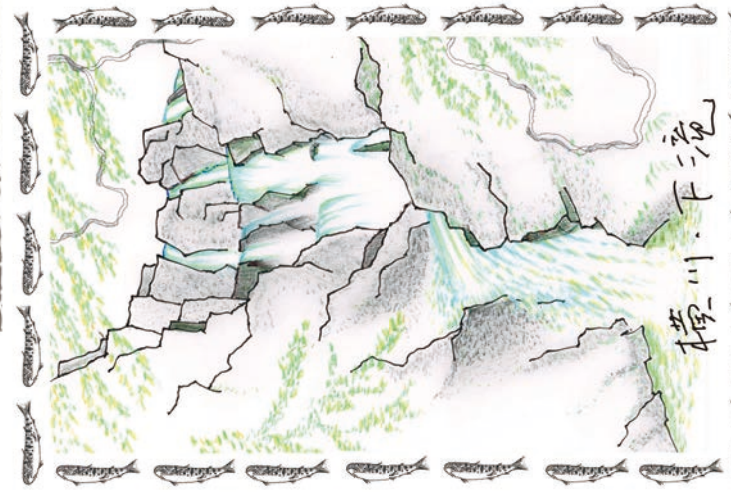
至常陸太田

国道36号

里美大橋入口

至常陸太田

- 26 酒蔵 (資)井坂酒造店
- 27 商店
- 28 レストラン・直売所・ジュエリー
- 29 JA 常陸里美生産物直売所
- 30 カフェ・自家製パン
- 31 スローパンカフェ アシリアベ
- 32 レストラン・直売所
- 33 山核直売所
- 34 直売所
- 35 折橋直売所
- 36 ケーキ・お菓子
- 37 菓子のやまがた
- 38 お土産・買い物・食事
- 39 道の駅 さとも
- 35 居酒屋
- 36 笑店
- 37 居酒屋
- 38 あかり
- 39 スナック
- 40 スナック 葱



備前川・下流